

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 9 日

所属	基盤教育機構	職名	准教授	氏 名	藤野 和樹
研究課題	大学体育バドミントン授業における競技経験別指導法の開発				
研究キーワード	技能上達、動作解析		当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった	
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	
1. 研究成果の概要 バドミントン授業受講者における技能の自己評価と運動経験との関係性を検討するため、Kruskal Wallis test によって比較した。その結果、すべてのストロークにおいて有意な差が確認された ($p < .01$)。またその後の多重比較の結果、スマッシュでは、バドミントン群がすべての群よりも有意に高く、打具操作群と球技群は運動経験無群よりも有意に高いことが確認された。次にクリアとドロップでは、バドミントン群がすべての群よりも有意に高いことが確認された。 2. 著書・論文・学会発表等 (できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載) 【論文 (査読あり)】 現在投稿中 【著書・論文 (査読なし)】 なし 【学会発表等】 なし 3. 主な経費 動作分析を行うための統計ソフトを購入した。 4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等) 【科学研究費】 若手研究：令和 2 年度～令和 5 年度、藤野和樹、課題名「大学体育バドミントン授業における競技経験別指導法の開発」(20K19605) 【その他の活動】 日本バドミントン学会理事 総務委員会委員長 研究推進委員会・広報委員会副委員長 大学体育スポーツ研究フォーラム実行委員 大学体育スポーツ学研究編集委員 3 編の査読をおこなった。 (本文は 2 ページ以内にまとめること)					